京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲新報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太

印刷人　松久耕一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題（五）

於仁川　山下南海

一時閑却されたりし歐洲列國殖民地の經營は其一度び經濟的帝國主義の唱道せらるゝと共に、亦た之に向て殆んど全力を傾注せんとするの有様を出現し茲に再び世人をしてマーカンタイル、システム旺盛の當時を追想せしむ、就中殖民地經營の後進國たる獨逸の如きは普佛戰後内政の統一を企圖すると同時に渾身の勢力を海外領土の經營に放擲するに到れり、素より獨逸國民の生殖力は露國と同じく世界に冠たる所にして累年增殖しつゝある人口を排泄するに非ざれば公平なる經濟上の分配を維持し能はざるの事情あり、獨逸が強硬なる社會黨の反對あるにも拘はらずイヤが上に軍備の充實に腐心せるは本國自衛の目的に於てのみ然りとなす乎亦た見ずや、由來モンロー主義の陰に潜み鳴かず飛ばず武陵桃源に太平を謳歌しつゝあるかを疑はしめし米國民の晩近帝國主義の渦中に投ぜらるゝや、渠は實に布哇を呑み非島を併せ、商業竝に海軍の根據地として東方亞細亞殖民の道程に一歩を進めたり、渠の本國は方城萬里尚ほ且つ幾千萬の勞働者を俟つに非ざれば打開の實を完ふする能はざるにも拘はらず、如斯の行動に敢てせしは斯れ豈に近世思潮に促されたる結果に非ずして何ぞや、英は奈何、露は如何、佛は如何、専念一意國力に伴ふ武裝に依りて領土の經營を完ふせん事を期せり、余竊に惟へらく近世的海外領土の經營は本國民の多數移住を以て主要條件となすべき事をと、然らば則ち本國人口の增殖こそ此條件に伴ふべき必須の事項にして旺盛なる生殖力を有する國民にして始めて殖民の目的を達するものなることを知らざるべからず、彼の佛國人が殖民地經營の爲に幾多の煩悶をなし延びて其統治要を唱道するに到りしは、默過すべからざる一大原因の存在にして本國民生殖力の遲衰之なり、一國人口の減少は國運の發展に絶大の關係を有するものにして、如何に武力の旺盛を以て自負するも遂に或は何等の效果なきに到らん博士デロン氏は佛國の衰運と題し下の如き言をなせり、曰く千九〇六年に於ける佛國人口の增加は僅に二万六千六百餘人にして、之を歐洲列國の生殖力に對照すれば驚くべき少數なりとす、則ち獨逸は八十萬餘人墺國及び英國は各五十万餘人露國は二百萬余人の增加を算す、而かも佛國人口の增加が更らに益遞減せんとするの傾向を現示するに到ては、不幸にも悲觀的結論をなさゞるを得ず、而して過去十年間に於ける佛國人口增加の平均は五萬〇百余人にして一昨々年の增加の如きは其半數にだも達せざるの有様なり、如斯の傾向を以て進みなば佛國は近き未來に於て死亡數は出産數を超過するに到り、遂に一國の死亡を餘儀なくするは不動の法則なりと、氏は亦た更に一歩を進めて曰く、若し人口遞減の原因が死亡數の過多に在りとすれば必らずしも救濟の道なきに非ずと雖も然かれども事實は之に反せり、即ち産兒死亡の過多は僅々人口增加の減退を來すことあるも佛國の産兒死亡數は他の列國に比して少數なり、結婚件數の過少は時に往々同樣の結果を生ずる事ありとするも佛國の結婚數は事實に於て年と共に增加せり、されば何を以て原因となす乎曰く出産數の異常に少數なる事之なり佛國に於ける一配偶者間の平均産兒は二乃至三にして國家の要求する所は四なりと云々さ、余は博士が統計的論斷に多大の趣味を感ずる者、佛國が殖民の效果を收むる上に於て他の列國と駢馳する能はざる所以のものは其原因や本國人口の遞減預て力ありと謂ふべし

地方通信

▲平壤通信

▲陸軍の電氣工事　平壤駐屯の歩兵二十三聯隊にては電氣工事に着手しつゝありしに聯隊のみは既に取付を了へ尚衛戍病院重兵分隊等にも漸時取付くる由なり

▲農銀支店長會議　來る二月五日各支店長を本店に召集し左の事項を議する由なり

一、支店所在地並に附近の金融狀態
二、倉庫事務の取扱狀況
三、地方稅取扱の狀況
四、貨幣に就ての策略及將來の方針
五、支店監督に對する各支配人意見

▲武田氏披露宴　新任煉炭所長の武田少將は三十日笑勝俱樂部に於て新任披露宴を開くべしと

▲金融組合總會　二十七日度支部財源調査課支部に於て總會を開き今後の方針に就て決議したり

▲行商視察團の組織　會議所の提案にかゝる同團は各店員を以て組織し解氷期を待つて深く韓内地に入り大に活動する計畫にて會議所よりは之れに視察員を一人附する答なりと

▲簿記生募集　簿記夜學校に於ては簿記課生の第一期の卒業式を了りたるを以て來月一日より更らに二期生を募集し店員養生に極力盡力する由なり

▲釜山通信

▲水産組長決定　先日來引續いて開會中なりし水産會議に於ける第一の議題たりし組長選擧は多數を以て龜山理事官組長となれり而して提出されたる議題は總て原案通可決し尚三月末日を以て任期滿了となる副組長に於ては組長之れを撰任する事に決定したり

▲理事官出張　龜山理事官は京都大阪岡山山口廣島の二府三縣視察のため二十七日の連絡船にて出發したるが要は同地方に於ける水力電氣軋道市街鐵道水道等の各事業視察の目的なりと

▲清國領事の來釜　二十六日馬清國領事來釜したるが其の用向きは清國專管居留地に關するものなりと云ふ

▲會議所役員會　商業會議所に於ては二十七日本邦米國輸入稅引上げ反對運動東上委員撰定に就て役員會を開きたるが近日東上せしむべしと

▲專管居留地確定　馬清國總領事は之れまで問題たりし專管居留地となるべき土地を檢分し追て内山府氏の所有地を買收する事に決定し既に幾分の價金を提出したれば漸く清國專管居留地も是に至りて確定を見るに至れり

文苑

三連人（下）

大庭青楓

折から自分の側に腰かけた十四五の女、艶々した大きな桃割髪、は言はずと知れた半玉だ。

「時的ッ〳〵。」と許りに學生連の視線は、一齊にこの半玉君に集中した。

「美い女だ。」

「後世恐るべしかね。」

「妾腕を拜見したいものだ。」

口々に云ふので、半玉君さつと顔を紅らめて俯いた。

「顏の紅らむ點から察すると、彼等社會にも、矢つ張り良心の塊が燃ねて居るものと見れるね。」

「それア無論存在して居るよ……併し俯いたところに、又一種言ふべからざる趣があるね。」

「然り好美人だ。」

「アツハヽヽヽ。」

と三人きつと笑ふ。

軈て蠣殻町で半玉君の姿が見ゑずなつた、そして茅場町で三人の學生は、深川行のへ乘り換へて仕舞つた。

忌々しい戀戀愛!! 縁日詣の危險!! は斯かる一團によつて、日毎夜毎に演出されて居るのだと思ふと、自分はゾツとせざるを得なかつた、坂本町を默想の間に過て、自分は岡崎町で下車た、何處からか汽笛の聲がした（完）

日本銘刀傳

第卅二席　邑井一講演

父「では誰に取られたのだ、伴造や仙吉だつて常から知つて居る仲だ、所以もなく取つて往くやうなこともあるめえ 與「ナーエね、俺が名主樣の家の門を出やうとすると、伴の野郎と仙の野郎が博奕に負けた話をしながらやつて來て俺に突當つたのだ、自分の方から突當つて置きながら突如俺の頭を一つポカリ喰らはせた、俺も默つて居れば宜かつたのだが、餘り業腹だから一言二言云つたもんだから、仙の野郎が此畜生と俺を擲つた拍子にバラ〳〵〳〵と落ちた小判三枚、伴の野郎が小判だ〳〵つてそれを拾つて逃げるから、勘辨して呉れ〳〵と追掛けて見たが追付ない父さん今晩の食ふものさへねえ始末、折角貰つた小判を取られてしまつたから何うすることも出來ねえよ」親父の與左衛門は老の眼に血の涙、キリ〳〵ツと歯がみをなし「エ、憎くらしい奴だ、憎くらしい奴だ、今に何うするか見やアがれ」と殘念がつたが仕方がない、可憫想に其晩は飯も食はずに寝てしまつた、伴造や仙吉の兩人、思ひ掛けなくも三兩の小判が手に這入つたので其足で倉賀野宿の料理店あけぼのと云ふ家へ上り飲食をして其小判で勘定をしたが其頃なか〳〵小判など普通の人の手に入るべきでない、料理店から代官所へ密告をしたので直ちに兩人は召取られた、段々調らべられると與助と云ふ馬士から取つたのだと云ふ白狀そこで與助は直ちに召取られる、これも取調べになると倉賀野の宿で鎌倉の武士山田様と云ふのを馬へ乗せ、其れ方から貰らつたのだと云ふ、夫れだけでは申譯が立たぬ、又時もあらうに昨日代官の倉を破つて賊が忍入り五十金程盗まれたので、與助も其連類であらうと嫌疑を蒙むつて憐れむべし孝子與助は入牢と云ふことに相成る、村の者は一同嘆願をした、與助に於ては決してさう云ふ不都合のものではございません、誠に親孝行の感心な者、全く與助に金を與へましたと云ふ武士が御代官の倉を破つた曲者に相違ございません、何卒與助を御発しを願ひますと申出ましたけれども、兎に角眞の曲者が現はれるまでは発すこと相成らんと云ふ、父の與左衛門は毎日泣いて許りで居る、所が正宗はトボ〳〵と杖に縋りながら別に急ぐ旅でもないから名所舊蹟を見物しながら新町の宿へ着いて山口屋と云ふ旅宿へ泊つた其頃のことでございますから旅宿と云た所で上等、中等、下等など〻區別のあつたものではない、又折惡客が多くて廣い座敷に七八人の合宿、正宗でもカンの手木綿か何かの詰らぬ衣類を着て居るから宿屋でも別に叮嚀の扱ひもしない 正「皆さん方、嘸お疲かれでございませう 甲「イヤ御免下さい、失禮ですが横になつて居ます 正「さア〳〵御緩ひなく…… 乙「斯うやつて御同宿致すのも何かの因縁でございませう 正「今日は天氣が大層もなく宜しくつて仕合でございました 丙「左様々々、貴方は何國から出でになりました 正「私は鎌倉の者ですが京大阪を見物して一昨鎌倉へ歸り、又上州の方から越後路へ見物に往かうと思ふのでござる 丁「それは〳〵結構なことでございます 正「お前さん方は何御商買で…… 甲「何に商人でございます 正「商人と云つたところで種々ありますが、何御商買でございます 甲「私は絲類の類を商なひます 正「此方の御仁は…… 乙「私は賣薬で……富山の反魂香を賣つて歩るきます 正「面白いね、お前さんは…… 丙「私は越後の小千谷縮を賣る者でございます 正「妙なものですね、斯うやつて他國の人が一つ宿に寝ると云ふのも何かの因縁だらう、何うです、一つ銘々に何か珍らしい話でもしたら…… 甲「私共は商人でございますから別に珍らしい話と云ふのもございません 正「イヤさうでもないでせう、何か珍談もあつたら話して聞かせなさい」

東京電報

▲輝久王民籍に下る 北白川宮輝久王殿下には情願に依り民籍に下さるゝこととなり明日樞密會議に附せらるゝ筈なり(廿八日夜着)

▲東宮殿下の還啓 皇太子殿下には今朝葉山より還啓遊ばされたり(廿九日)

▲韓鐵と首相答辯 衆議院豫算委員總會に於て政友會代議士改野耕三氏より韓國鐵道に關し質問ありたり桂首相は韓國鐵道の現況を說き交通機關の完備は韓國統治上尤も必要なるを以て夙に京元、湖南兩線を敷設せんことを望みたるも財源なきに依り其運に至らざりしが來年度以降に於て南滿鐵道より利益配當金として三百五十萬圓を受入るることをなしたるを以て差當り其金額を以て建設費に充つることとなり韓政府は一日も早く之を完成せんとの希望なるも今日に於ては通常の財源なきに依り來年度の豫算に於て三百五十萬圓を計上したりと述べり(同上)

▲通信管理局の合併 統監は通信管理局を廢し其事務を統監府に合併するとの意見にて目下政府と協商中なり(同上)

▲二委員の報告會 朝鮮問題同志會にては昨二十八日夜大谷誠夫、五百木良三兩氏の報告會を櫻田俱樂部に開けり其結果近々委員會を開催して今後執るべき活動方針を協議するに決定し散會したり(同上)

▲政友會と陸海軍 政友會は陸海軍豫算に大削減を加ふるに決したるが陸海軍々吏の統一、幼年學校廢止に關する件は尙ほ調査の上決定する筈なり(同上)

▲有川公使の逝去 全權公使有川四郎氏病氣にて逝けり(同上)

▲港灣修築を迫る 政友會は全國港灣の修築速成を政府に迫れり

北京電報

▲學堂總裁の辭任 慶親王は學堂總裁を辭職申出で今回聽許されたるを以て載濤貝勒後任を命ぜられたり(廿九日着)

▲防穀令抗議申込 黑龍江省防穀令發布に對し日、米、獨、露四國領事は抗議を申込みたり(同上)

歐州電報

▲巴里洪水の慘狀 巴里市の洪水は未だ減退せず外務省、米國大使館、代議院等浸水し益慘狀を極め居れり(廿九日着)

韓米の歐米輸出
(日本米名義の紛紜)

近年韓國米歐米輸出の激增を來せる原因は主として輸入地精米業者が同白米割高なる日本米として賣却し其直輸を利せんとするにあるが如し之を以て我精米業者が同米の再輸出に對して戻税を設定し中繼に精米業者の利益を得んとの目的にて引續き之が運動を試むるものあるに對し兵庫正米業者間には同米に日本米の名義を使用するは不都合なりと過日來之が爲め會合を催したるが同米の神戸港を中繼として歐米各國へ輸出するは一時同米を保税倉庫內に入れ置き商談の纏まり次第之を他に積出すべきを以て輸入税の負擔を要せざる關係より小資本家も之に從事するを得ると同米の目下賣行良好なるは日本米として之を賣却しつゝあるに因るものなれば日本米に對する格付を明かにするに於ては今日の如き盛況を持續する能はざる可しと云ふ因に昨年中同米の神戸港を仲繼として歐米各國へ輸出されたる高十四萬三千九十九袋也

駐韓交代の部隊

臨時韓國派遣隊滿期兵は來る四月上旬頃より內地原隊に歸還の途に就くべく其交代派遣部隊は左の如し

▲步兵第一(東京)同第四十九(甲府)同第五十七(佐倉)聯隊同第三(東京)(以上第一師團)
▲步兵第六(名古屋)同第六十八(岐阜)同第三十三(名古屋)同第五十一(津)聯隊(以上第三師團)
▲步兵第十八(豐橋)同第六十(同上)同第三十四(靜岡)同第六十七(濱松)聯隊(以上第十五師團)
▲步兵第八(大阪)同第七十(篠山)同第三十七(大阪)同第六十一(和歌山)聯隊(以上第四師團)
▲步兵第七(金澤)同三十六(鯖江)同第三十五(金澤)同第六十九(富山)聯隊(以上第九師團)
▲步兵第四十六(大村)同第五十五(佐賀)同第四十八(久留米)同第五十六(同上)聯隊(以上第十八師團)

則ち二十四箇聯隊中より各一箇中隊宛の兵員を拔き第一期の教育を終りたる三月中旬頃より渡韓滿期兵の補充を爲すことゝなれり因に臨時韓國派遣隊は名は臨時なるも其實は暴徒全滅し韓內地の秩序回復する迄は駐劄せしむる計畫なれば之を永久的と稱すべく而して下士兵卒は二ケ年毎に內地師團と交代する筈なりと云ふ

●仁川港水運の好況

一月に入り地方出廻りの大豆出荷頻に增加し日々二三千石の入荷を見ざることなく從て輸出界も大活氣を呈するに至りしが常に從來韓國關係の各線に使用しつゝありし船舶のみにては迚も其用を充す能はざるにより本月初大阪商船會社にては隆州丸、基隆丸、汕頭丸の三國時船を使用する事となりしも尙ほ夥しき出穀の增加は輸出穀停滯の虞あるを以て更に社外船勝丸を借受け何れも積荷滿載の大盛況なるが本月中に於ける出入船舶は前十二月に比し外國貿易船入港十二隻千〇四十一噸同出港十一隻四千百九十九噸を增進したるも他沿岸は暴徒の支障及目下結氷季たるにより貿易不振を免れず同十二月に比すれば入港六十三隻一千〇十噸出港十二隻二千百七十二噸の減退を見る

●統監府官吏と關税

往年韓國總務長官在職當時は長官より度支部に交涉し統監府在籍官吏の私用輸入品に對しては細大となく關税免除の特典を獲得したりし以來其當座こそ格別の弊害も認めざりしが漸く年を經るに從ひ不眞面目となり來り殊に最近に至りては贈商の依賴を容れ高價なる絹織物及び他貴重品の脫税を企つるの弊益々盛となり單に京城のみにても一ケ年間約五十萬乃至百萬圓の巨額に上り爲に眞面目なる商人の受くる損害は一方ならず就ては同商人間の物議漸く高きを加へ放置すべからざるに至りしより京城商業會議所は目下是れに關する材料を蒐集し當局に向つて右官吏の免税撤廢を稟請し以て一般商家に於ける關接の利益を擁護すべしと

●民團財政膨脹趨勢

京城居留地發展の趨勢は實に驚くべき速度を以て進步し來り之に伴ふ居留民自治機關の財政も年次其額を增加しつゝあり今茲に日清戰爭以來十五年間に於ける膨脹の趨勢を按すれば左の如し

年次	歳出金
二十八年	七、〇〇〇、〇〇〇
二十九年	一六、九三〇、〇〇〇
三十年	[illegible]
三十一年	[illegible]
三十二年	[illegible]
三十三年	[illegible]
三十四年	[illegible]
三十五年	[illegible]
三十六年	[illegible]
三十七年	[illegible]
三十八年	[illegible]
三十九年	一三一、三九六、二〇二
四十年	一五六、四五一、七〇〇
四十一年	二二〇、三三三、〇〇四
四十二年	二二六、一六三、〇〇〇

●滿洲銀行問題成行

滿洲銀行の設置說は都督府と居留民との熱心なる希望により一時は政府も略ほこれに同意したるも正金銀行の反對と滿鐵側の異見に依て行惱み昨今又々總代上京して運動中なるが滿鐵側にては滿銀を獨立のものとせず滿鐵の附屬事業たらしめんと欲するも格別意見を固執するの模樣なく又正金銀行も前には絕對的に反對せしも正銀の營業と滿銀とは全然其性質を異にし兩者の間に利害の大衝突を生ずる恐なきを認識したる結果多少反對說に緩和を與へたれば今後順當に經過せば設置の見込なきにあらず衆議院側にても政友會始め略ぼ異論なきものゝ如しと云へり

●氷藏船の設置哀請

日本海面に於ける魚族の饒多なる事は一般の知悉する處なるも同海韓國の沿岸には之を販賣すべき市場を有せず爲めに需給の關係其衡を得ず魚價亦低廉なるより漁業者は空しく其利益を收め難き現狀なればとて咸北當局者は水產組合又は日本海航海業者に對して相當の補助を與へ氷藏庫を設備して日本の市場に運搬せしめ同時に又沿岸樞要の地點に冷藏庫を設置して生魚の貯藏に宛て大に同方面漁業者の便を開かんと計畫し韓政府へ其補助方を禀請し來れり而して政府にても其急要なるを認め目下精細に調査中なりと

●瓦斯の惡臭に就て

日韓瓦斯會社供給の瓦斯は異樣の惡臭を放ち就中暖爐の如き多量の瓦斯を點用するものに在りては紛々鼻を衝き到底室內の裝飾用具として不快に堪へざるが右に就き專務岡崎遠光氏に之を質したるに右は炭質の不良に基くものにして同社にても疾く是に氣附き近々改良せしむべき筈なりと即ち當時使用したる石炭は新浦居田炭にして流黃分多きも副產物たるコークス多量に產出するを以て之を試用せしが彼が如き惡臭は顧客に對する信用を損ずるを以て爾來は該炭に鈴田炭を少數混用すべければ再び不成績を演ぜざるべしと云ふ

●全州慈惠院の良好

全羅北道全州慈惠院は客年十二月十日開設せられしが今其近況を聞くに開院當時は來診患者は七八名たりしも漸次近世醫術の何物なるや周知せらるゝに及び十二月末には日に七八十名に增加し其結果十二月中の治療人員三百廿一名內韓人二百六十四人[illegible]人五十七人の多きに達し越て一月に至るや益々增加の盛況を呈し其恩澤に潤ひつゝあるが昨今取扱患者二百余名にして一日治療患者百名內外の激增を見去る一日より十九日に至る新患者は實に三百九名にして患者の多くは中流以下の者多數を占め遠近を勞とせずして來り專ら醫療を乞ふ有樣なりと云ふ

●福島中將の歡迎會

石塚總務長官事務取扱は來る三十一日(月曜日)正午より目下來京中の福島參謀次長を主賓とし木越、宇佐川兩中將、藤田軍醫監、榊原、明石兩少將、小倉主計監、長屋大尉を翠翠樓に招待し午餐會を開く由當日は接待役として國分小松の兩參與官も參席すべしと尙ほ同日午後五時よりは花月にて文武官民五十餘名の福島將軍歡迎會ある筈なり

●本年度燈臺工事開始

本年度燈臺工事は韓國全岸に亘りて十二箇所の多きに上り而して本局に於ては是非共本年中に悉皆竣功せしむる見込なりされば其第一着手として前年度來の繼續事業たる清津燈臺より始むるに決し野澤技手は職工人夫等二十餘名を引連れ來月五日釜山より燈臺巡邏船光濟號に搭乘し彼地に向ふ筈而して約三ケ月間にて全部竣功に至る可しと

●釜山商品補助下附

釜山商業會議所附屬商品陳列館は新館の落成と共に其裝置品一切を新陳代謝せしむる事となり客年末之が準備に着手し一方韓政府に對して經費補助方を請願して二千圓を受くる事となり居りしが既に館內の裝置全部完了せるを以て兩三日中に該金の交付あるべしと

漢城銀行營業成績

資本金 三十萬圓(未拂込金貳五千圓)
政府貸下金 十萬圓
下半期純益金 一万七千三百十七圓四十四錢
配當 年一割五分
後期繰越 金四千八百七十五圓十九錢
支配人 李升鉉

株式會社漢城銀行は茶洞に在り度支部監督の下に重に韓人間に營業を爲す銀行なるが今昨年下半期に於ける營業成績を聞くに七八の兩月は前半期より市場不振の打擊を受け金融緩漫にして預金のみ激增し貸出に於ては殆んど皆無の姿となり尤も其の裡に一時米價の上向となりたるため多少の運轉ありしもそはホンの動きたりと云ばかりにて金融上より觀察する時は何等の影響を受けざりしなり而して九月には韓銀株募集ありしに因り從來株券及び有價證券等の價値を知らざりし韓人も韓銀株の有利なるを知りたるものと見え同行に向つて盛んに振替へを申込みたるも同行は之れに應せず唯だ少數の有力者に對してのみ貸出しを爲したるに過ぎざれば之れがために資金の需要を見ざりしなり加之コレラ病流行の爲め市場益々萎縮し預金のみ增加し奈何とも爲す能はざる狀態となりしが十月以後より確實なる支那商人との取引を開始したる結果前記數字の示す如き效果を收めたるなり。

●民團管內の民有地

京城居留民團役所の調査によれば現在の同民團民有地は宅地二十萬四千四百五十五坪此時價五百四十萬三千四百三十六圓、畑地十六萬五千百八十一坪此時價二十三萬八百十三圓なりと云ふ

●新三税の徵收成績

酒、家屋及び煙草三税の收入豫算は八十万圓なるが昨年十二月十五日までの收入成績を聞くに家屋税十二万四千二百九十五圓酒税十九萬八千九百七十四圓煙草税十九万九千三百九十三圓合計五十二萬二千六百六十二圓にして殘額は來る五月までに徵收の筈なりと

●侍從武官の仁川行

山根侍從武官は豫定の如く昨二十九日午前九時四十五分仁川驛着運輸部出張所及び憲兵分遣所に至りて慰問の要旨を傳へ仁川理事廳にて休憩の上午後二時五十分仁川驛發にて京城に引返せり

●駐韓交代師團決定

臨時韓國派遣部隊交代のことは別項記載の通りなるが陸軍省にては韓國駐劄第六師團の本年度秋季交代兵を第二師團(仙臺)と決定したる由なりと云ふ

●韓銀と海外の爲替

韓國銀行にては今般橫濱正金銀行とコルレスポンデンスの約束を爲したるに依り海外爲替の取組を爲さんとする者に取つては頗る便利なるべしと

●福島中將仁川視察

福島中將は既報の如く今三十日午前九時四十五分仁川驛着官民有志の出迎を受けて市中を隈なく巡視の上信夫理事官邸の午餐會に臨み午後歸京の豫定也

●在韓邦人の漁業者

最近の調査による在韓日本人の漁業者並に漁船總數は左の如し
漁船數 三千八百六十八艘
從漁者 一萬六千六百四十四人

▲福島將軍と韓國女學生

參謀次長福島中將は既報の如く廿八日市內韓國側各學校を巡覽したるが先づ於義洞普通學校より始め工業傳習所、官立高等學校、師範學校、漢城高等女學校を午後四時半民團各學校に赴きたり學部よりは小杉學務官隈本書記官等案內し師範學校へは俵次官も臨席したるが將軍は高等女學校にて職員の請ふがまゝ二年級の韓女學生に對し簡易なる日語會話の試問をなし『貴女は何時頃學校から歸りますか』と尋ねたるに卒業期と問違へたるものらしく『もう三年經ては卒業します』と答へたるが將軍は莞爾として詞言を繰返したるに對し件の女學生はやゝ羞耻の色を見せたるが輕く誤解の無禮を詫び明瞭に『三時半に歸ります』と答へたりと

市原總裁上京

韓銀總裁市原盛宏氏は總會準備の爲め來二月七日出發東上する由

韓國債の借替

韓國政府が日本興業銀行より一千萬圓の借入金を爲すの契約ありて既に五百萬圓を借入れしが右は本年度に於て日本政府より貸下げある二千万圓の內より之を支拂ひて同行との借款契約を解除する由なり

●中學校敷地に就て

二十八日の紙上に統監府々立中學校の敷地として慶熙宮が適當なりとの該當局者間に議ある由を報じたるが右は固より決定したる譯にはあらず候補地としては該は外に龍山及び京城に二箇所ありて未だ何れとも決定せずと云ふ

龍山通信(廿九日 支局發)

▲麻浦船橋問題 同問題に關し龍山の運漕業者は代表者を仁川に遣し同地の同業者と協議せしむる處ありしは既報の如くなるが此報に接したる仁川の在住者は同港が前年來統監府の鐵道政策に中てられて不自然なる衰微を來せるに際り中繼港としての仁川の命脈は唯漢江に依りて繼ぐの外なしとして譬へば家運の挽回を托すべき一子に對するが如く官民協力して愛撫到らざる無かりしに今之れに船橋を架して舟筏の上下を障害さるゝに於ては由々敷大事なりとて既に商業會議所よりは架橋許可取消の請願書を提出し又仁川稅關長も何か具申する處ありしと聞く仁川既に然り漢江在るが爲めに生れたる龍山居留地に住む程の者何とて默して止むべけんや遲れ走せながらも許可取消の請願を爲すべく民長は目下開會中の居留民議會に附議し決議の上願書を內部に提出する筈なりと云ふ刑り提出する筈なりといふ尙一度繰返さんか『民長は目下開會中の居留民議會に附議し決議の上……』と相成る儀にして可なり寸の延びたる文句となる斯く文句の長たらしき丈けそれだけ否それ以上實際は迂遠に思はるゝ何となれば架橋工事は着々進步せしめ居ればなり此際一日を寬すれば當局に於ては許可の取消に困難を感ずる筈なり手續きも方式も時にてこそ依れ民長は宜數急に內部當局者を訪ふて事情を開陳し先づ工事の中止を命ぜられん事を請ひ而後許可取消なり設計變更の命令を發せられんことを願ふべきなり想ふに內部は斯る重大なる問題を茲越すべしとは想像らざりしならん架橋固より曲事にあらず若し舟筏の上下に何等障害を與ふる無くんば繼令麻浦の渡航業に依て糊口の資を失ふもの幾千家族ありとも公衆の爲め實に止むを得ざることなりとしたらんも當局は龍仁兩地の休戚に關する程の大事件なりとは思考せざりしならん因て何人が如何なる運動を爲して件の許可を得たるやを知れる或者は曰く驗氣となりて騷ぐには及ぶまじと何さなることやら知らねども成行きに依りては尙少しく通信の材料あり

●長野縣人歡迎會 在鮮長野縣人會は今三十日福島中將歡迎會を京城ホテルに催す由にて出席申込者意外に多く同中將も當日は萬障操合せ午後五時には必ず臨席せらるゝ筈なりと尙ほ來會者は同時刻迄に必ず參會すべしと

●營業部員新年會 廿八日夜米倉町高田屋に於て在京城五新聞社營業部員新年宴を兼ね懇親會を開きたるが來會者二十餘名に上り中々の盛會なりしと

●木越中將午餐會 木越第六師團長は二十九日福島參謀次長を正賓とし統監府高等官及び京城民長を陪賓として招待し將校集會所に於て午餐を供せり

●小松夫人の受日 小松外務部長夫人は每月第一火曜を以て受日と定め同日午後二時より內外人の來訪を受くと

●御用船の入出港 陸軍御用船吉林丸は廿八日仁川に入港即日大連に向ふ

●宇土兵藏氏退京 鎭海灣防備隊附主計少監の同氏は入京中の處廿八日歸任

●大宅伊敏氏歸任 入京中なりし水原地方裁判所判事の同氏は廿八日歸原

▲洽外漫錄▼

目下滯城中なる福島中將は信州出身の人で、彼の單騎旅行以來メキメキ名を現はし今では非藩閥出身軍人中の統領とまで仰かれて居る▲信州の名物男之を昔にしては眞田幸村、之を今にしては福島安正、彼の善光寺及渡邊野狐禪の如き到底共に語るに足りぬ▲一時沈んで居た御馳走熱が此頃またまた度を高め出した、交際慰勞の爲なら御馳走も時にはよかろう、併し東拓や韓銀の樣に政府の補給でヤツト生きて居る連中までが他人に御馳走するとは一體何の事だ▲近來死亡者の多いには甚だ驚き入る、一月に入てからでも記者の親戚や關係者で此世を去つたものが八人ある、此分で本年中を推したらソレコソ大變だ、鶴龜、鶴龜▲此頃滿洲から來た人の話を聞くと在滿日本人の商賣は日に衰へるツーだ、近い話は官煙とトラスト煙との競爭だが現狀に因ると官煙三分のトラスト七分で勝はトラストに歸すべしとの事たイクラ都督府が威張つても商賣の役には何にも立たぬ▲先年大屋さんが二度迄冗員を淘汰したのに近々亦々韓鐵冗員の大淘汰があるツーだ、之を以て見ると大屋さんは何だか首切役人のようだ▲昔は傳馬町に首切役人と云ふがあつて其最も上手なのは一日に二十八人も切つたものだツーだ、併しドンナ上手な靈でも之を大屋局長に較べたら到底話にならぬ、來らんとする淘汰に大屋さんの爲に切らるる首は四百以上との事だ、而して其中には相當の首も交じつて居ると云へば皆さん用心が第一、第一

拳骨（十六）

桃睡

尾久十君は雲水の門を出て乗つて來た車夫を歸す、香海居士は何か氣の毒さうな顔をして續いて出て來る。

怜悧なかず子夫人は框迄見送くつて來た、

「ご免被下いまし」と叮嚀に辭儀する。

「は怎うも失敬しました」尾久十君は帽子を脱つて禮を返したが、香海君は耳にも入らぬ樣子で頻りと杖の先きで其處等の小石を撥ね飛して居た。

下女のれ種君は夫人の背後から氣味惡る相に覗いて居る。

暫て二人は歩き出す。やゝあつて、

「君の狼武者にも全く困る」と尾久十君が難じ始める。

「何是」

「何是でもですから、彼の位に僕が禁めて置いたにも拘はらず……僕が彼の家に往く事はすまいと思つて居たならば此末君で成行くなつた者やら實に君の邸へ[illegible]然たる彼の……そして僕の六失人は一體怎うして遣つて來たんだ」

「怎うしてだか僕は些度も知らん」

「知らん法はないぢやないか」

「でも君、雲水に往つて僕は未だ高屋氏の顔は見て居らんのだ」

「併し何だぜ、甚だしい勢で事から遁つて來たが……丁度僕が歸らうと起上つた處だつた、突如（離縁すると云ふのは良人が[illegible]仰つた始末だ」

「實に不都合千万な女だ、他分僕と雲水の歸りを待つ[illegible]飛び出したのだ」

「何うしても兎ても君勢では例の雲山宅だ、[illegible]大した勢ひだつた旅の體から酒なる者を抜き取つて丁度[illegible]」

「フム、雲生」

「オイ君又歸つて漸く納まつた家庭を又ごた返しちや可かんぜ」

「實際女は保證は出來ん」

「どうや不可ん」

「僕は雲水に斷然宣告したから今となつては仕方がない」と額を凝視める。

「ひど」

「併し口は出來が仲人と云ふ譯でもあるまいし」

「君、雲水と國際の口吻だ、仲人であらうがあるまいが、丸で夫人を引取つてそして彼様無作法な手紙なんかを審察す以上は甚れ位の責任はある筈だ」

「まア可いさ、それよりも僕が頼むから君歸つても何も云はずに默つて居て異れ、君の遣り方ちや六なる女は蘂山君の女房やら君の女房やら……」

「ハツハハおやおや君の命によつて默々として其の狀態を拜見しやう、併し君は何う納めて蘂山宅を出て來たのだ」

「何うつて納まらぬ内に飛び出したさ君が什麼事を遣つて居るか夫れの方が氣が配つたからね」

「おやまだ低氣壓だらう」

「解らん、事で是れは可いがと心配」

「余計な心配さ」と香海居士は事あれかしと云つた樣な顔付。

孫秉煕の擧動

▲怪しむべき布教視察　東學黨の變亂に際し日本に亡命したる事ある天道教主孫秉煕は過般一進會の提唱したる合邦論に反對し密々排日的運動をなし居るが此程自己の門下四名を率ひ慶尚道永度寺に赴きたる由名を布教視察に藉ると雖も腹中何等か不逞の陰謀を挽藏せるならんとの噂頗る高し

教唆者に非ずや

天道教の劇烈派と目さるゝ別項所報天道教主孫秉煕の配下にて天道教の總務を勤むる孫某と稱する者あり李在明と交り極めて深く李は梁に師事して教を受けたる事さへあり今回の兇行に就ては孫某が教唆に出でたるにあらずやとの風評あり夫れかあらぬか孫某は李在明の連累嫌疑者として逮捕せられ居ると云へば目下身柄は鐘路裁判所にある筈なりと云へり

●徽文義塾長拘引せらる　徽文義塾長と興士團員にて淑明女學校外三四校の教師を兼ぬる柳一宣及び興士團員李奎東は昨日午後四時拘引せられたり柳一宣は徽文義塾夏期學校の運動會の際同池に赴き千數百名の學徒に對し演説をなしたる事あり何等か本件に關係あるべしとの説には興士團々員中前記三名を召喚して其の交友等を訊問したる事ありと傳ふるものあり

●社名を詐稱す　京城日報社員と詐稱し京城本町通りにて詐欺を働きつゝありし一昨日仁川に逃亡し來れる一惡漢あるを仁川署刑事の手にて逮捕せしが詳細は次號に報ずべし

●通關屋の公判　仁川の惡通關屋土屋茂吉及同店員西井次郎吉に對する詐欺取財事件の公判は明三十一日京城地方裁判所仁川支部にて開廷の筈なりしも都合に依り來月七日午前十時より開廷せらるゝ事に延期しなりと云ふ

●仲居の落し物　仁川花町三丁目塚本岩太郎の長女ちよ（二三）と云ふが一昨日午後三時頃敷島遊廓黒門前にて餘念もなく戯れ居たる足許に博多織の財布落しあるを發見し殊勝にも直に花町派出所に屆出でければ警官は中を檢べて見しに現金四十圓餘在中し爲替證書に名記せる處より同遊廓朝日樓の仲居井上さくの所有財布なる事を確め同人を呼出して下渡したるに大に喜び右ちよに對し金二圓を謝禮したりと

東西湯屋廻り（三）

▲瑞典は男女混浴　是れは瑞典のみに限らず歐洲北部の國々では上貴族から下庶民に至る迄毎戸必ず家の裏の方に浴場が設けてある、殊にフィンランド地方の農民の家には住宅に附屬して必ず少さい浴室があつて而も悉く男女混浴である。其の構造は他の半熱帶乃至温帶地方のそれとは甚だ趣を異にして、先づ一つの竈の上に大きな薄い石の板を敷き其の下で火を焚いて石が温るに從つて之に水を撒くやうになつて居る。すると其の水は忽ち蒸氣となつて濛々と立ち登り室内は華氏の百六十度内外の温度になる、此時農夫婦は爐を置き鐵を投げて男女を問はず入浴する。而して此所で一時間乃至二時間位此蒸氣に蒸されて再び農業に從ふ、斯う云ふと入浴が不規則である樣だが此地方は一帶の氣候の激變が甚だしいので今華氏の入九十度の氣候であつても直に三十度にも下ると云ふ風だから一枚の仕事着で はそんな時に堪へられない、乃で入浴して暖まる必要がある、だから此入浴に浴つて四季の病氣を豫防する事になつて居る。

●廢業女郎二人　新町遊廓清進樓の抱え娼妓若芳事長崎縣生れの本名藤城たか（二四）は都合あつて一昨日鎮南浦へ鞍替へす前借金は百十圓▲此れも同樓抱え藤名はほんたとて三重縣生れの辻井はつ（二〇）と呼ぶ者此度病氣にあつて國本より送金の三百圓にて前借支拂の上泥足を洗ふたは一昨日

●日曜の教會　▲メソヂスト教會、旭町二丁目同教會の本日は朝十時「一生の研究」同十一時禮拜説教「篤信家の本領」にして夕七時より傳道説教「[illegible]もの」演師は例の如く木原牧師なり▲京城基督教會　日之出町同教會にては本日曜日午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜説教午後七時半より傳道説教あり其の演題は朝「人生の快事」夕「動中の靜」何れも米澤牧師口演の筈▲日本基督教會　旭町四丁目の同教會の本日は午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜説教「家庭の宗教」午後七後より傳道説教「死は人生の終なるか」等にして辨士石原牧師

●行旅病者收容　滋賀縣野州郡長須村當時長谷川町一丁目平民藤本そと（四〇）と云ふ女は去る四十一年中渡韓し其處此處の雇女となりて活しゐたる者なるが客年九月頃より喘息病に罹り治療中なりしも病勢次第に重り行き蓄財はなくなる頼り邊はなしと云ふ憐れなる境遇に陷りし爲め遂に救護方を其筋に願ひ出しかば一應取調の上行旅病者として一昨日本願寺別院に收容

●頼んだ男かな　廣島生れの湯本民一（二六）と云ふは本月初旬空想に驅られて遙々仁川に來りたれど思はしき仕事もなきにぞ豆腐の賣子に身を窶して稼ぐ内激烈なる脚氣に襲はれし爲め主家より解雇され進退谷まりて只だ死を待つのみとなりたれば一昨日仁川署に訴出で行旅病者として收容

●韓人の行倒れ　仁川牛角洞に於て一昨日氏名不詳の一韓人（五十位）が路傍に病死せるを發見したれど手掛りなければ檢視の上面長に引渡し假埋葬に附したりと

●新町遊廓の檢梅　同廓一昨日の檢梅の結果は入院八名、休業通院六名、就業通院十五名なりしとは餘りれ勤めに身の入つた稍でかな

●敷島の檢黴　仁川敷島遊廓の檢黴を一昨日執行したるが受檢娼妓七十四名にして内休業二歸國中三自宅休業二局部洗滌を要するは一山の鶴松同樓助春安の小房第二朝日の舞鶴第二敷島の春子の五名なりしと

●一昨日の新町　一昨日の新町遊廓登樓客は百十一名にして其の遊興費は五百五十七圓十二錢

▲歌舞伎座　同座本晩の替り狂言は前「菅原傳授手習鑑」車場寺小屋にて切は「小三金五郎」上中下ときまり例の役割は左の如し

武部源藏、髪結金五郎（福圓）松王要千代、額の小三（梅女）下男三助、奈良屋權左衛門（眼若）舍人梅王丸、女房戸浪、太鼓持睦八（菊三郎）舍人櫻丸、三太郎、大村屋いと（菊太郎）百姓當作、伯父逸いたとら（當久次）春藤玄蕃、伯良子官藏、菅秀才（小文次）藤原時平、百姓畑作、千代堪忍太郎）金輪引、百姓畑作、千代堪忍（昇若）御台園の前、娘たさき（寶若）

尚明卅一日の出し物は「鑑山權現誓助劍」二幕中狂言は御好みにより「花の吉野山三ッ面所作事」切「隅田川續俤法界坊」にして其の役割は次の如し

術士又五郎實は塚本狐、法坊界（福圓）娘れその、野分姫（梅女）毛谷村六助、道具や甚三（眼若）補正行（福三郎）辨内侍、二役手拔狐、吉田宿產之助、菊三郎）京極内匠、船守れかん（吉藏）柚興平、阿賀菊助、娘れくみ（菊太郎）柚斤右衛門（壽太郎）柚文次、權右衛門、番頭忠八（當久次）親兵衛、小文次）柚の母たか、うどんや小六（昇若）柚若六、仲居わか（寶若）

▲浪花館の義太　去月は浪花節にて非常の喝采を拍せる同館は右打揚後來月一日より仁川にて評判なりし竹本越之助一座の娘義太夫を乘込ませ花々しく開館すとの事なるが些度眼先きも新しければ定めて好評なるべし該一座の大夫連は左に

竹本越之助、同越吉、同今子、同此菊、同此酒、同春吉、同小峯、同園菊

等なりと

▲壽座　鱗十郎一座は二十八日同座を打揚げ龍山の龍山座に乘込み一昨日より賑々敷く開演なし居る筈

趣味の京城（二）

寫眞會—謡曲—淨瑠璃—球突—大弓—琵琶——俳句會

京城には隨分俳句會が多い、記者の記臆に存する丈でもオンドル會、巴吟社、鐵會、齊死會、沈香會、吟光會の六つを數へる。何その他に同好同具の士が寄集つて、試作を交換批評して趣味を翫つて居る會合が尠くなからうと思ふ。

オンドル會

これは尤も古い歷史を持つた俳句會で三十八年中警視廳の橋本牛人、外國語學校の田中世遙吾外數名の發起で創立された。これが京城に於ける俳句會の嚆矢で一時は隨分振つたものだが近來は會員數も減じて僅かに七八名よりない、前記二名の外に松田芳亩と云ふの が爲渡鋒る、機關雜誌は日本及日本人で、いづれも碧梧洞を崇拜して居る。碧梧洞の俳趣味に似た句振りも從つて碧梧洞の俳趣味に似たのが多い。特に愛に一言して置きたいのは京城俳壇に於ける橋本牛八の地位である、彼の率ふる會は衰殘したが彼の句は群小天狗連を壓して一頭地を拔いて居る、先づ橋本牛人こそ京城郵便局の山地白雨とか（齊死會のくだりにて詳述す）純然たる趣味での俳人と稱すべきであらう。

巴吟社

巴吟社は遞信管理局員二十名光化門郵便局員十八名とよりなる俳句會で、創立は四十一年の十月頃、會員數の多いと云ふ點がその試作にかゝる句の價値を高めるものとすれば巴吟社の句は韓國随一の名句が多いと云はねばならぬ併し事實は概ね之に反して居るらしい幹事は通管の岡部桂華、荒川秋陽、黒崎友春、小原牛殿、野田心水の諸君と光化門郵便局長の嶋曜堂さである。就中雁堂の俳句狂と來たら評判もので、同局々員は無理押付けに會員に入れてやけりかなを捻ねくらせる、捻ねくらないと御機嫌が惡い、局員こそ飛んだ迷惑で、致方がないから義務的に運坐もやれば苦吟もする、從つて幼稚とも何とも評のしやうのない句が多い。且那が何さやらして下女面瓤めとか云つたやうな愚劣な句が受けが能いらしいこれでは藝術でも何でもない、斯る意味に於ては俳句の眞意義を眩ふものとも云へやう。會員中で句作の多いのが藤本鼓石、これは毎々日々俳壇に試作を公けにして居る。毎月二回乃至三回位、長谷川町の會場で集會し、其筆販の句集を會員へ頒布して居るが、鳴雪や蕪村の句を悦んで居るらしい。

（この稿未完）

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 壮麗 本店
●高等並室内装飾熟練の者至急御依頼に應じ度し御用の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸 岸田
●多少法律事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入れたし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内舊韓國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所清水方へ
●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店
●老舗讓渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村
●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋建もあり滊車電車に近く出入便利希望の方は電話七四番
●求貸家 永樂町二三丁目にて貸家を求む男一人温実ならば最佳 氏名在社

廣告

入院隨意
龍山新市街山下町
内科 小兒科 眼科
原醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

三一館
熱心單志多年爲斯道於滬徹底與旨恍然似有得者雖醫推賜斷斷不敢茫洋辭愈匪勝素面輕蔑也
京城本町五丁目
易斷觀相 教授 館主 土御門派大陰陽師

齒科
京城旭町壹丁目五四
齋藤英壽
電話一四一四番

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話改番 一三一五

統監府御用
宮内府御用
軸物、表裝、金銀屛風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式
表具 建具 商 京城堅町(電話一一八七番) 石川辰次郎

東京足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

シヤトル太平洋博覽會大賞牌受領
御禮披露 景品附發賣
最上醤油
登録商標
山十印
釀造元 千葉縣銚子町
岩崎重次郎
景品 一小樽壹樽毎に特製の高尚なるサック入切子の銚一個
一大樽壹挺毎に同上銚四個
特約發賣元 京城本町一丁目 三巴酒店 電話七五二番
龍山本町三丁目 三巴支店 電話五六四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

美術書畫
襖、壁、天井張
京城旭町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)

秩父縞新柄着荷
弊店獨特の本場秩父縞珍柄着荷仕候間多少共御用命仰付被下度候追御注文次第持參御高覽に可供候
京城明治町一丁目
秩父屋
関根出張店
(電話長四三)

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(京城本町電話一五八三番)

荒物世帶道具一切
大阪合製白絞油和洋蠟燭
和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目録御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒浄亀 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇電略(二カ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

營業擴張廣告
土地家屋並に商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて御相談に可應候下記便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候
質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店 (電話九三二番)
京城相生町(南大門通魚市場裏) 樋下田支店 (電話一四三九番)
龍山清水町六十三番戸 樋下田支店 (電話四〇四番)

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
●全一冊●紙數凡六百頁〇菊判半截形●定價金六十錢
右登刊豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層研鑽を致し大目を協約、官制、官規、官等の現行法規其他俸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日發行の豫定の處材料蒐集の都合上其他諸般の選澤なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度此段奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部
石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

外科 内科
梅毒痳病専門
京城御成町南大門外一丁南
戸田病院
電話番號九三八番

特約販賣
漬物 味噌 醤油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一一番)
和洋酒、罐詰、穀物、麥粉、乾物、鰹節、昆布、海苔、椎茸、ビール、米糀、塩、日本食鹽、荒物食料雜種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
自午前九時 至正午
但他は從前の通り
龍山榮町(電話六〇三番)
龍山醫院

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんびやう、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋
唐川商店
電話二六一番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一五番)

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候
電話一三八二番

韓國銀行
本店用 電話(長)一三一〇二
當座係用 電話(長)二三六一
庶務用 電話(長)二三六一
客用 電話一三三二
來客用 電話六〇一
臨時建築部用 電話三三六
支店出張所
仁川、平壌、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、清津、(以上韓國)大連、(清國)
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山小郡、長府、瀬戸、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、
西海道 久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 電話十番
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行
山東丸 二月十一日午後三時出
●大連行
相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行
山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行
酒田丸 二月 三日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行
立神丸 一月廿六日午後時出
御注意 近送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事